

薬物絶つ生活支援

山 リハビリ施設開設

薬物依存症の回復を支援する民間のリハビリ施設「富山タルク」が今月、富山市吉野山町にオープンした。入所者は集団生活を営みながら、グループミーティングなどのプログラムを実践し、回復を目指す。スタッフは「苦しみを分かち合いながら、薬物を使わない生き方を共に考えていきたい」としている。

富山

「DARCタルク」は、薬物依存症の民間プログラムが全日本にない状況を打破。元々、物依存リハビリプログラムの共同運営している。県外、日からのプログラムの導入。話の頭文字を取った造語で、施設に富山県出身者も大歓迎して回復を目指している。



ミーティングでそれぞれの思いを語り合っている。富山市吉野山町吉野山の「富山タルク」。

「富山タルク」は、県内での開設準備を進めてきた。富山タルクは北陸では初めての開設で、五十万平方メートル。富山タルクは五月一日に開設し、県外出身者の男性六人が入寮。県内からも一人が通所している。入所者は、同じ悩みを持つ仲間と生活しながら、一日一回のミーティングやレクリエーションなどに参加し、就労の準備やメンタルケアなどを行う。富山タルク、電話076-407-1717。

北日本新聞

発行所
北日本新聞社
富山市安土町2番14号
〒930-0094 電話076-445-3300
©北日本新聞社 2008

ホームページアドレス
<http://www.kitanippon.co.jp>
購読申し込み 0120-88-3746